

## 愛知県立南陽高等学校Nanyo Company部 高校生が提案！Nanyo Company部のカーボン・オフセット普及へ向けた取組

～産・学・官連携で広がるカーボン・オフセットの取組～



### 取組の概要

愛知県立南陽高等学校Nanyo Company部は「地方発カーボン・オフセット認証取得支援事業」の採択を受け、カーボン・オフセット認証マークを掲載した学校のパンフレットを、県内の中学生および教員や保護者に対し、約8,000部を配布し、カーボン・オフセットの取組の普及啓発にも努めた。さらに、イベントや体験入学の中でもステッカー3,000枚、エコバッグ500個、オフセットチラシ10,000枚を配布するなど、オフセットの取組について多くのPRの機会を設けてきた。

他にも、名古屋市主催の地元企業が共同で参加し、大学生が運営する「Nagoya学生EXPO」のイベントのカーボン・オフセットの依頼を受け、算定者としてNanyo Company部の生徒と大学生とが共同で行うなど、カーボン・オフセットの普及啓発活動に努めている。

オフセットの分類	商品・サービス型、会議イベント型、自己活動型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
取組の実施時期	2012年12月1日～現在も継続中		
クレジット	クレジットの種類	J-VER、国内クレジット	
	プロジェクトの種類	森林吸収系、排出削減系	
	プロジェクトの名称	木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト 他、段ボール製造工場における照明設備の更新による省エネルギー事業	
	プロジェクト実施地	岐阜県、愛知県	
オフセット量	5tCO <sub>2</sub> 、2tCO <sub>2</sub> 、合計：12tCO <sub>2</sub>		
無効化日	2014/1/20、2014/5/12		
販売数、参加者数等	パンフレット8,000部 ステッカー3,000枚、エコバッグ500個、オフセットチラシ10,000枚 「Nagoya学生EXPO」約20,000人		
価格、参加費、クレジット費用の負担			
オフセット・プロバイダー			
オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力		
・「エコバッグ」「ステッカー」「チラシ」「パンフレット」についてLCA実施、温室効果ガス排出量。 ・「Nagoya学生EXPO」会場の電力使用にともなう温室効果ガス排出量。	・商品販売時に使用するビニール袋の素材をバイオマス素材へ変更することによりCO <sub>2</sub> を削減。 ・学校の屋上に竹を敷詰め、構内の温度上昇を抑え電力使用量を削減。		
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点		
・商品の価値の向上だけでなく、カーボン・オフセットに取り組むことで、Nanyo Company部や「Nagoya学生EXPO」が環境に配慮した商品開発やイベントを行っているという知名度も向上した。	・カーボン・オフセットを行っていることを謳うだけでなく、チラシや看板、口頭で説明を行う事で、購入者の理解を深めた。 ・多くの人に分かりやすく伝えるため、対象の年齢に応じて、制度の説明方法を変えた。		
【問い合わせ先】 愛知県立南陽高等学校Nanyo Company部 担当：柘植 政志、三田 千英子(Nanyo Company部 顧問)、 部員一同	TEL：052-301-1973 Email：k613439g@m2.aichi-c.ed.jp (柘植) ウェブページ：http://www.nanyo-h.aichi-c.ed.jp/z-nanyocompany.htm		